

# 「社会の役に立ちたい」64%

## 内閣府調査 医療・福祉「良い方向」

内閣府が6日に発表した「社会意識に関する世論調査」の結果で、国民の3人に1人が、良い方向に向かっていく分野に「医療・福祉」を挙げたことが分かった。

調査は今年1月下旬から2月上旬にかけて、全国の成人男女1万人

を対象に実施。5439人の回答をまとめた。

社会のために役立ちたいと思っている人（複数回答）は64%。役立ちたい内容は、福祉活動（38%）、町内会など地域活動（31%）、自然・環境・保護活動（29%）が多かった。

地域での付き合いは

「ある程度付き合い合っている」（50%）と「よく付き合っている」（17%）を合わせ67%があるという。「全くない」は7%だった。現在の社会については65%、満足していない人は35%。満足していない

点（複数回答）は「経済的ゆとりと見通しが持てない」（42%）、「若者が社会での自立を目指しにくい」（33%）、「家庭が子育てしにくい」（27%）が多かった。

また、良い方向に向かっていく分野は「医療・福祉」（32%）がトップで、「防災」（21%）、「科学技術」（20%）と続く。逆に悪い方向に向かっていく分野は「外交」「国の財政」（各38%）、「防衛」（29%）が挙げられた。

（井口拓治）